

# Social Business Project

主催 未来の大人応援プロジェクト実行委員会

後援 文部科学省、内閣府（地方創生推進事務局）、総務省、農林水産省、厚生労働省、国土交通省、観光庁、  
中小企業庁、三重県、三重県教育委員会、伊勢市、多気町、南伊勢町、皇學館大学、伊勢商工会議所、  
伊勢度会ロータリークラブ、南伊勢町商工会

パンフレット制作 株式会社アイブレーション

SBP および全国高校生 SBP 交流フェアの詳細情報は Web サイトをご覧ください。

<https://mirai-otona.jp>

未来の大人

検索

高校生の“伸びしろ”は、  
そのまま日本の“伸びしろ”だ!

## 第6回 全国高校生 SBP Social Business Project 交流フェア

～学生の学生による学生のための祭典～

プログラム

1

SBP チャレンジアワード本選

2021 7月31日(土)・8月1日(日)

プログラム

2

SBP チャレンジアワード決勝・交流会

2021 8月22日(日)



## 未来の大人と未来を創る！

「第6回 全国高校生SBP交流フェア」開催に当たり、主催者を代表しご挨拶申し上げます。

本フェアは、全国でSBP活動を行う高校生を中心とした団体が、それぞれの取り組みを通して交流・研鑽を図ることを目的とし、2013年より毎年1回実施してまいりました。

開催当初は、社会的な必要性、継続性、運営する財源の確保などいくつもの課題があり、開催自体その意義を問う必要がありました。そこで最初の3年間は、“高校生レストランのまち”として有名な三重県多気町を会場に「全国高校生“S”の交流フェア」と銘打ち、本フェアの前身をスタートさせました。

その結果、想定を超える多くの方々からの支持を受け、2016年から「第1回全国高校生SBP交流フェア」として舞台を三重県伊勢市に移し、より多くの地域で“未来の大人たち”を応援する仕組みを作ろうと新たなスタートを切りました。

そして嬉しいことに、文部科学省をはじめとする多くの行政や団体のご後援に加え、企業の皆さまの多大なご協力により、第6回を開催する運びとなりました。

昨年に引き続き、今回も新型コロナウイルスの影響でオンラインでの開催となりますが、活動が制限されるなか全国から多くの高校生たちが参加します。

また本フェアは、企画・進行・運営を三重県立相可高校生産経済科&食物調理科・南伊勢高校SBP・松阪商業SBPが担当しています。そしてその高校生たちを、皇學館大学生がさらに裏方で支えるという“生徒や学生主体のフェア”です。

『高校生の“伸びしろ”は、そのまま日本の“伸びしろ”だ！』という言葉に胸に、私たちは地域を守り育てる“未来の大人である若者たち”を、全員で、全力で、温かく育てていきたいと考えています。

最後に、このフェアの開催に当たりご協力、ご尽力を賜りました多くのカッコいい大人たちに感謝の意をささげ、今後とも“未来の大人たち”を応援し続けていくことを宣言いたします。

未来の大人応援プロジェクト実行委員会 委員長 岸川政之

## SBPとは

SBPは「Social Business Project (ソーシャルビジネスプロジェクト)」の略で、地域の課題をビジネスの手法を用いて解決していこうという取り組みです。具体的には高校生が地域資源(ひと、モノ、自然、歴史、名所旧跡、産業等)と交流し、見直し、活用して“まちづくり”や“ビジネス”を提案していく、そしてその取組を地域で応援し支えていこうというものです。

SBPは、三重県多気町にある相可高等学校食物調理科が運営する高校生レストラン「まごの店」などを先進事例に、2013年4月に三重県立南伊勢高等学校南勢校舎で最初のSBPが立ち上がりました。この地域に根ざした取り組みが全国に広がっており、全国高校生SBP交流フェアにもこれまでに80以上の団体や高校が参加しています。

## 主催

一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 「未来の大人応援プロジェクト実行委員会」

委員長	岸川 政之	一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 代表理事 皇學館大学現代日本社会学部 教授 百五銀行 公務部 シニアアドバイザー
委員	中野 拓治	琉球大学農学部 客員教授
委員	新田 均	皇學館大学現代日本社会学部 学部長
委員	吉川 秀明	三重県立相可高等学校 校長
委員	角屋 貴久	三重県立南伊勢高等学校 校長
委員	川瀬 幸史	三重県立松阪商業高等学校 校長
委員	井上 珠美	三重県教育委員会高校教育課 課長
委員	山岡 茂治	一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 副代表

## 後援

文部科学省、内閣府(地方創生推進事務局)、総務省、農林水産省、厚生労働省、国土交通省、観光庁、中小企業庁、三重県、三重県教育委員会、伊勢市、多気町、南伊勢町、皇學館大学、伊勢商工会議所、伊勢度会ロータリークラブ、南伊勢町商工会

## 協力

株式会社赤福、アドビ株式会社、株式会社アンシャンテ、NT GROUP、公益財団法人修養団、国立大学法人東京学芸大学、株式会社百五銀行、株式会社百五総合研究所、NEXCO 中日本サービス株式会社、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社三重支社、株式会社ベネッセコーポレーション、マルシェ株式会社、三重県教育工学研究会、みらいこ株式会社、有限会社わらしべ

## 広報

マスコミ(TV、新聞等)への報道発表やフェア当日の取材依頼等に加えて、文部科学省のメールマガジン等への掲載などによる広報を実施

## 記録・演出

北出 正之(MK フィルム工房)

## 企画・運営スタッフ

○一般社団法人未来の大人応援プロジェクト

岸川 政之、北川 清生、江角 悠太、太田 憲明、松浦 茂之、榎木 隆彦、高橋 貴博、吉田 拓末、阪井 宣行、向井 英規、南 直好、早川 明宏、岩脇 幸哉、山口 隼人、西村 重哉、中村 武弘、村林 新吾、山岡 茂治、中沢 仁、岸川 晃大、岩城 裕子

○相可高等学校生産経済科

花井 琴音、橋本 彩良、河野 美玖

○南伊勢高等学校 南伊勢高校 SBP

磯崎 碧生、木村 朱、山下 吏杏、山本 楓真

○松阪商業高等学校 松阪商業 SBP

荒井 菜々子、小椋 瑛花

○皇學館大学 大学生 SBP 研究部会

大西 海輝、大原 颯太、加藤 総心、木場 玲二、境 真捺、中桐 優太、福岡 優希、前川 拳太郎、森岡 愛翔、磯 伶奈、増井 香苗、岩田 一希、林 一孝、藤岡 希実、上村 駿介、山田 泰資

○皇學館大学

勝井 賢太郎、高山 洋輔、谷口 健人、宮野 蓮弥、浅野 久瑠実、岡川 凌、島田 将一郎

## これまでのSBP協賛企業様一覧(50音順です。)

株式会社赤福、株式会社アクアイグニス、アサヒビール株式会社、株式会社アイブレン、アドビ システムズ 株式会社、株式会社アンシャンテ、イオンリテール株式会社東海長野カンパニー、株式会社いち、有限会社壹貳参、伊藤忠製糖株式会社、特定非営利活動法人植える美 ing (ウエルビーイング)、株式会社魚国総本社三重支社、株式会社うすけ、エイチ・エス・アシスト株式会社、株式会社エオネックス、NT GROUP、株式会社NTTドコモ、株式会社O.R. コーポレーション、相可高校 生産経済科、株式会社相可フードネット(せんばいの店)、株式会社近江兄弟社、株式会社岡井ファーム、社会福祉法人 笠木御所桜会、河武醸造株式会社、株式会社川原製茶、株式会社ぎゅーとら、ギョルメ舎フーズ株式会社、グーグル合同会社、九重味淋株式会社、クラギ株式会社、グリコハム株式会社、株式会社ゲイト、コケッコー共和国、公益財団法人修養団、松和自動車学校、株式会社松和産業、有限会社すかや呉服店、瀬古食品有限会社、株式会社セブン銀行、株式会社タイム、多気郡農業協同組合、多気町観光協会、多気町商工会、株式会社チェンジ、辻製油株式会社、株式会社デンソープレステック、国立大学法人東京学芸大学、株式会社トモ、株式会社豊田自動織機、日経三勢会、人源輝業塾、NEXCO 中日本サービス株式会社、万協製菓株式会社、番頭舎、株式会社百五銀行、株式会社百五総合研究所、華為技術日本株式会社(ファーウェイ・ジャパン)、富士ゼロックス三重株式会社、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社三重支社、株式会社プラトンホテル、株式会社ベネッセコーポレーション、株式会社マサヤ、株式会社マサヤグループ本社、マルシェ株式会社、三重県教育工学研究会、三菱商事株式会社、みらいこ株式会社、株式会社レオパレス21、株式会社LOCK、松阪山桜ロータリークラブ、有限会社丸伸西口商店、三重信用金庫相可支店、株式会社ミエライズ、有限会社山春商店、ユナイト三重株式会社、ユヌス・よしもとソーシャルアクション株式会社、有限会社わらしべ

プログラム 1 SBP チャレンジアワード本選  
2021 7月31日(土)・8月1日(日)

プログラム 2 SBP チャレンジアワード決勝・交流会  
2021 8月22日(日)

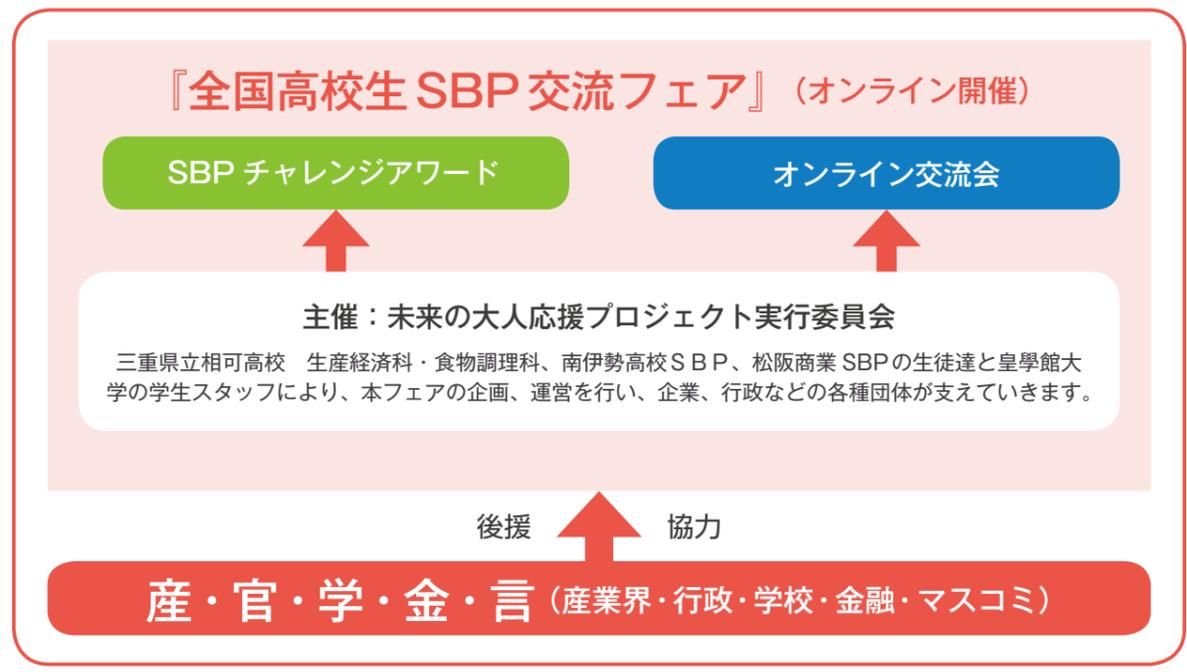
# 第6回 全国高校生SBP交流フェア

## ～学生の学生による学生のための祭典～

全国の高校生が地域の課題を解決するためにビジネスの手法等を学びながら“取り組んだことを発表”し、“開発した商品を紹介・販売”をしながら交流し、互いに評価しながら向上していくことを目的に行う交流事業です。

当行事に参加した高校生らが更に郷土愛を育み、更に地域を盛り上げる活動を展開するきっかけになるとともに、SBPに取り組みたいと考えている方々に希望をもってもらえる祭典・交流フェアになるよう企画しています。

※SBPの“S”には、英語で「Social」「School」「Student」「Smile」「Sun」「Super」「Soul」「Sustainable」「Seed」「Sweets」「Special」「Surprise」など、未来に続く素晴らしい言葉があります。



SBP  
チャレンジアワード



色々な取り組みを進める高校生同士が集まり、交流を深めて視野を広げます。地域における貢献度など、互いを評価して進化していくことを目的にしており、商品や取組の完成度等を評価します。

**成績評価について 『文部科学大臣賞』『三重県知事賞』**

SBP チャレンジアワード本選はWeb会議システムを使ってオンラインで行います。事前の書類審査を通過した最大24団体がSBPチャレンジアワード本選(プログラム1)で5分間のプレゼンテーション・質疑応答を行い、その中からSBPチャレンジアワード決勝(プログラム2)に参加する6団体が選ばれます。

本選では全参加団体の取り組みに対し「極」(90点以上)、「輝」(75点以上、90点未満)、「雅」(50点以上、75点未満)の評価を行います。決勝では選ばれた6団体が10分間のプレゼンテーション・質疑応答をおこない、その中で最も点数の高かった団体に「文部科学大臣賞」、次点に「三重県知事賞」を授与します。

**特別賞について 『特別賞』**

SBPチャレンジアワードに参加したすべての団体の中から、企業等の基準・観点で選ばれた団体に次表の各賞を授与します。賞の選定は協力いただいた各企業等の基準・観点によるものとし、一つの団体が重複して賞を受ける場合もあります。また、特別賞の他、審査員全体での「審査員特別賞」を設ける場合もあります。

**審査委員**

No	氏名	所属等	特別賞
1	荒木 康行	株式会社百五総合研究所 代表取締役社長	百五総研賞
2	角田 陽一郎	バラエティプロデューサー (元TBS番組プロデューサー)	角田陽一郎賞
3	小村 俊平	ベネッセ教育総合研究所 主席研究員/岡山大学 学長特別補佐	ベネッセ賞
4	小林 拓哉	東京学芸大学 特命助教 (コンソーシアム型研究開発プロジェクト) 東京学芸大 こども未来研究所 学術フェロー	東京学芸大学賞
5	小役丸 秀一	株式会社グラノ24K 代表取締役	ぶどうの樹賞
6	齊藤 葉子	アドビ マーケティング本部 広報本部 インターナルコミュニケーションマネージャー	アドビ賞
7	多田 祐美	三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループリーダー	三井化学賞
8	田中 真司	株式会社百五銀行 公務部 課長	百五銀行賞
9	徳野 貞雄	テクノスクール・農村研究所 代表/熊本大学 名誉教授	徳野賞
10	筒井 琢磨	皇學館大学 現代日本社会学部 教授	皇學館大学賞
11	藻谷 浩介	株式会社日本総合研究所 主席研究員	藻谷賞
12	井上 珠美 西川 俊朗	三重県教育委員会 高校教育課 課長 (未来の大人応援プロジェクト実行委員会委員) 三重県教育委員会 高校教育課 課長補佐	
13	大学生SBP	皇學館大学 大学生SBP研究部会 堀木 山葉 (現代日本社会学部4年) / 宮本 幸佳 (同学部3年) / 三好 ともる (同学部1年) / 山田 泰資 (同学部1年)	大学生SBP賞

※敬称略、50音順

**特別賞審査員** 参加団体の取り組みを各所属企業などの独自の基準に基づき評価をします。

No	氏名	所属等	特別賞
1	青山 忠司 小島 邦彦	NEXCO 中日本サービス株式会社 代表取締役社長 NEXCO 中日本サービス株式会社 取締役	NEXCO 中日本サービス賞
2	笠原 正嗣	皇學館大学 現代日本社会学部 教授	皇學館大学 現代日本社会学部賞
3	加藤 洋嗣	マルシェ株式会社 代表取締役社長	マルシェ賞
4	楠木 裕子	株式会社アイブレーション 代表取締役社長	アイブレーション賞
5	武田 数宏	公益財団法人修養団 伊勢青少年研修センター 所長	SYD賞
6	小山 巧	三重県度会郡南伊勢町 町長	SBP 特別賞 (南伊勢町長賞)
7	佐々木 一晃	三重県伊勢市役所 産業観光部 部長	伊勢市長賞
8	柘植 英雄	株式会社赤福 執行役員	赤福賞
9	中村 武弘	三重県教育工学研究会 会長	三重 ICT賞
10	野呂 厚史	株式会社アンシャンテ 代表取締役	アンシャンテ賞
11	福田 圭	有限会社わらしべ 代表取締役	たいやきわらしべ賞
12	皇學館大学 学生スタッフ	皇學館大学 学生スタッフ 一同 代表: 永田 航暉 (現代日本社会学部3年) / 森 知帆里 (現代日本社会学部2年)	皇學館大学 学生スタッフ賞

※敬称略、50音順

**オンライン  
交流会**

これまでの「夜の市」をモデルに、インターネットに構築された仮想空間 (Web 会議システム) で高校生の様々な取り組みを披露し、交流を深める場として開催されます。

実際に開発した商品やオリジナルたい焼きなどをその場で購入したり、食べたりはできませんが、実演や取組紹介を通して、本フェアの参加者の高校生たちがオンラインで交流を行います。

事前登録済みの引率・関係者・一般の方も参加頂けます。

7月31日(土)PM、8月1日(日)AM・PMの3回実施

## プログラム1 SBP チャレンジアワード本選

プログラム1ではSBP チャレンジアワードに出場される団体をA・B・Cの3グループに分け、各団体の取り組みを発表します。

**グループA** 令和3年7月31日(土)PM

13:00 ~ 受付開始  
○審査員は12:45までに仮想の部屋『審査員控室』に入室する  
○発表団体は13:00までに仮想の部屋『SBP チャレンジアワード本選 グループA』に入室する  
○見学を希望の関係者(学生・引率・関係者)は、別途案内されたライブ配信にて視聴

13:30 ~ プログラム1オープニング  
○主催者代表挨拶(未来の大人応援プロジェクト実行委員会委員長 岸川 政之 他)  
○オリエンテーション(審査委員紹介、高校生・大学生スタッフ紹介、諸連絡等)

14:00 ~ **SBP チャレンジアワード本選 発表**  
○参加団体の発表者が順番に発表を行う(5分ごと)  
○各発表が終わり次第、審査員の質疑応答を実施(5分以内)

15:30 ~ プログラム1終了  
○講評(グループA 審査代表 株式会社日本総合研究所 主席研究員 藻谷 浩介)  
○閉会挨拶、全体での写真撮影

**グループB** 令和3年8月1日(日)AM

9:00 ~ 受付開始  
○審査員は8:45までに仮想の部屋『審査員控室』に入室する  
○発表団体は9:00までに仮想の部屋『SBP チャレンジアワード本選 グループB』に入室する  
○見学を希望の関係者(学生・引率・関係者)は、別途案内されたライブ配信にて視聴

9:30 ~ プログラム1オープニング  
○主催者代表挨拶(未来の大人応援プロジェクト実行委員会委員長 岸川 政之 他)  
○オリエンテーション(審査委員紹介、高校生・大学生スタッフ紹介、諸連絡等)

10:00 ~ **SBP チャレンジアワード本選 発表**  
○参加団体の発表者が順番に発表を行う(5分ごと)  
○各発表が終わり次第、審査員の質疑応答を実施(5分以内)

11:30 ~ プログラム1終了  
○講評(グループB 審査代表 株式会社百五総合研究所 代表取締役社長 荒木 康行)  
○閉会挨拶、全体での写真撮影

**グループC** 令和3年8月1日(日)PM

13:00 ~ 受付開始  
○審査員は12:45までに仮想の部屋『審査員控室』に入室する  
○発表団体は13:00までに仮想の部屋『SBP チャレンジアワード本選 グループC』に入室する  
○見学を希望の関係者(学生・引率・関係者)は、別途案内されたライブ配信にて視聴

13:30 ~ プログラム1オープニング  
○主催者代表挨拶(未来の大人応援プロジェクト実行委員会委員長 岸川 政之 他)  
○オリエンテーション(審査委員紹介、高校生・大学生スタッフ紹介、諸連絡等)

14:00 ~ **SBP チャレンジアワード本選 発表**  
○参加団体の発表者が順番に発表を行う(5分ごと)  
○各発表が終わり次第、審査員の質疑応答を実施(5分以内)

15:30 ~ プログラム1終了  
○講評(グループC 審査代表 三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループリーダー 多田 祐美)  
○閉会挨拶、全体での写真撮影

SBP チャレンジアワード本選の結果発表および講評は8月8日(日)10:00よりオンラインにて実施します。また、A・B・Cの各グループから2団体ずつ合計6団体を選出され、選ばれた団体はSBP チャレンジアワード決勝にて発表を行います。

8月22日(日)AM・PM

## プログラム2 SBP チャレンジアワード決勝・交流会

プログラム2ではSBP チャレンジアワードの決勝に選出された6団体の取り組み発表と、参加される団体・一般・関係者の方とのオンライン交流および表彰式を行います。

**午前・午後の部** 令和3年8月22日(日)

8:30 ~ 受付開始  
○審査員は8:30までに仮想の部屋『審査員控室』に入室する  
○発表団体は8:30までに仮想の部屋『SBP 交流フェア メイン会場』に入室する  
○見学を希望の関係者(学生・引率・関係者)は、別途案内されたライブ配信にて視聴

9:00 ~ プログラム2オープニング  
○主催者代表挨拶(未来の大人応援プロジェクト実行委員会委員長 岸川政之)  
○後援団体代表挨拶(皇學館大学学長 河野 訓)  
○オリエンテーション  
(審査委員紹介、スタッフ紹介、日程説明、諸連絡等)

9:30 ~ **SBP チャレンジアワード決勝 参加団体によるプレゼンテーション**  
○開会挨拶 文部科学省 総合教育政策局 地域学習推進課長 根本 幸枝  
○発表団体:6団体(エントリー団体総数:最大24団体中)  
※団体ごとに10分間の発表をオンラインのWeb会議システムで行い、各審査委員から10分間の質疑を受けます。  
※質疑は審査委員・特別賞審査員とも同時に行いますが、アワードの採点は審査委員が行い、特別賞審査員は特別賞のみ審査します。

12:15 ~ **SBP チャレンジアワード決勝終了**  
○『メイン会場』に入室したまま、各自、各場所で昼食等の休憩を行う

13:30 ~ **オンライン交流会**  
○『メイン会場』にてオリエンテーション(交流の仕方、時間などの説明)  
○出展される団体はオリエンテーション後に各自のブース(仮想の部屋)へ入室する  
○団体および参加者は用意された部屋へ移動し交流を行う  
※入室する部屋や各交流時間は交流しやすいように事前に事務局にて調整  
○見学を希望の関係者(学生・引率・関係者)は、希望の部屋へ移動し交流を行う

14:30 ~ **オンライン交流会終了・休憩**

15:00 ~ **結果発表および表彰**  
**進行:未来の大人応援プロジェクト実行委員会**  
○SBPチャレンジアワード決勝の講評・特別賞発表  
○各特別賞審査員と各団体との交流(15分)  
○結果発表(文部科学大臣賞・三重県知事賞・審査員特別賞他)

16:30 ~ **閉会式・プログラム2終了**  
○未来の大人応援プロジェクト実行委員会高校生委員長 花井 琴音 挨拶  
○閉会の辞(未来の大人応援プロジェクト実行委員会委員長 岸川政之)  
○全体での記念撮影

## プログラム1

### SBP チャレンジアワード本選

令和3年7月31日(土) 8月1日(日)



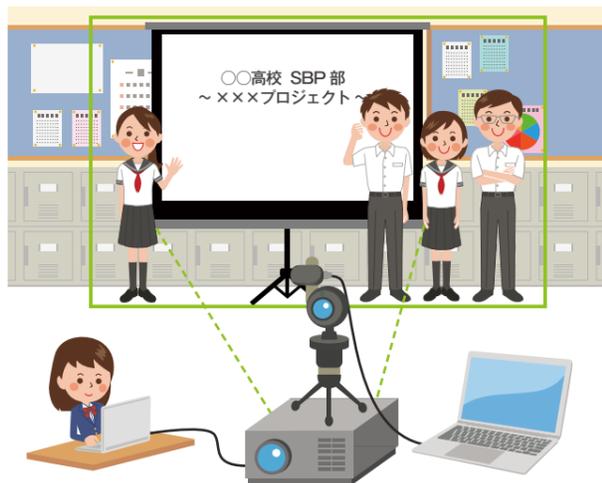
カメラやマイクはノート PC に備え付けのもの、または、USB の Web カメラやマイクを利用ください。また、事前にマイクやスピーカーの音量が問題ないか確認ください。

- ・ポスターセッションは発表5分、審査員からの質疑応答の5分の合計10分です。
- ・発表は最初の挨拶から最後の挨拶までの間に、**事前に録画した動画**を流します。
- ・動画は発表の様子を録画するものであり、加工等は不要です。また、発表時の展示物の掲示やモニタの利用は任意です。
- ・発表者は発表に集中できるように、**他の生徒がパソコンの操作**をしてください。  
(カメラとマイクの ON・OFF、司会進行画面のピン止めの ON・OFF の2つの操作があります)
- ・当日は事前に発行をしている**発表用のアカウント** (学校名@mirai-otona.jp) を使って**仮想の部屋に入室**してください。

## プログラム2

### SBP チャレンジアワード決勝

令和3年8月22日(日)



プレゼンテーションの操作は発表者または他の生徒が行います。プレゼンテーションを映すパソコンと Web 会議に接続するパソコンは別に用意してください。

- ・オーラルセッションは発表10分、審査員からの質疑応答の10分の合計20分です。
- ・発表は最初の挨拶から最後の挨拶まですべてをライブにて行います。**事前録画の再生など事務局による操作はありません。**
- ・発表者は発表に集中できるように、**他の生徒がパソコンの操作**をしてください。
- ・発表時にプレゼンテーションソフト (PowerPoint など) を利用する場合、**内容がわかるように大きく映してください。**  
Web 会議の画面共有機能は利用しません。
- ・発表者の全身が映る必要はありません。演劇・ダンスなどの実演をする場合はスポット・全体など**映り方を必要に応じて工夫**してください。

当日の SBP チャレンジアワード・表彰式の様子は Microsoft Teams のライブ機能にて配信いたします。視聴には事前登録 (<https://sbp.fan/fair2021invite>) が必要です。また、SBP チャレンジアワードの発表動画や SBP 交流フェアの様子は YouTube チャンネル「未来の大人応援プロジェクト」にて後日視聴できます。

## プログラム2

### SBP チャレンジアワード決勝

令和3年8月22日(日)

### 【オンライン交流会】

オンライン交流会は SBP 交流フェア 特設サイト (<https://sbp.fan/fair2021>) にて実施します。それぞれの発表団体が各ブース (仮想の部屋) を持ち、ブースを訪れた他校の生徒や参加者たちに取り組みを表し交流します。事前に申し込まれた一般・関係者の方も特設のホームページから各ブース (仮想の部屋) に参加して交流することができます。

※利用するには事前に事務局から発行された学校アカウント (学校名@mirai-otona.jp) または 事前登録 (<https://sbp.fan/fair2021invite>) が必要です。

**●各出展ブース**  
発表団体の担当者が各ブースで待機し、取り組みや商品の紹介、実演などを行います。

Web 会議  
(カメラとマイクを ON にして参加)

**●メイン会場**  
オープニング・オーラルセッション・閉会式については出場団体・審査員以外はライブ配信を視聴し参加することができます。

司会・発表者・審査員・事務局  
ライブ中継 (メイン会場のみ)

**●参加校の紹介**  
オンライン交流会に参加される団体のプロフィールや動画を見ることができます。

# 参加校 一覧

## 日本全国から 多くの高校生たちが参加!!



	ブロック	参加団体・高等学校名	SBP チャレンジ アワード	オンライン 交流会 参加
1	北海道・東北	北海道留萌高等学校 商業研究会	●	○
2	北海道・東北	青森県立鱒ヶ沢高等学校 鱒ヶ沢高校 SBP 研究会	●	○
3	北海道・東北	青森県立木造高等学校深浦校舎 深浦町探究愛好会ふかうら SBP	●	○
4	北海道・東北	仙台市立仙台商業高等学校 商業情報部	●	○
5	北海道・東北	福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校 社会起業部カフェチーム	●	●
6	北海道・東北	福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校 スペシャリスト系列【商業】	●	●
7	関東	栃木県立那須拓陽高等学校 SoyPro 同好会	●	○
8	中部	福井県立若狭高等学校 小浜未来構想学生グループ	●	○
9	中部	浜松学芸中学校・高等学校 社会科学部地域調査班	●	●
10	中部	愛知県立高浜高等学校 高浜高校地域活動部 SBP 班	●	●
11	近畿	三重県立松阪商業高等学校 松阪商業 SBP	●	○
12	近畿	三重県立相可高等学校 食物調理科 調理クラブ		●
13	近畿	三重県立相可高等学校 農業クラブ	●	○
14	近畿	三重県立南伊勢高等学校度会校舎 度会 SBP	●	○
15	近畿	三重県立南伊勢高等学校南勢校舎 南伊勢高校南勢校舎 SBP	●	○
16	近畿	京都府立海洋高等学校 海洋資源科食品経済コース	●	●
17	近畿	和歌山県立神島高等学校 商品開発プロジェクト「神島屋」	●	○
18	中国・四国	愛媛県立土居高等学校 情報科学部	●	○
19	九州・沖縄	熊本県立天草拓心高等学校 天草拓心高校 SBP 部	●	○
20	九州・沖縄	宮崎県立飯野高等学校 E-GEP	●	○
21	九州・沖縄	沖縄県西原町 NS <sup>2</sup> BP (西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト)	●	○

●…交流会出展 ○…交流会参加

### オープン参加団体 (オンライン交流会参加)

- 22. 五所川原第一高等学校 ジャわめき隊
- 23. 五所川原商業高等学校 商業クラブ
- 24. 青森県立六戸高等学校 生徒会
- 25. 富山県立滑川高等学校 薬業科
- 26. 静岡県立島田商業高等学校 超☆珠算部
- 27. 三重県立明野高等学校 生産科学科畜産専攻
- 28. 三重県立飯南高等学校 応援団 Circle
- 29. 三重県立昂学園高等学校 昂学園 SBP
- 30. 三重県立紀南高等学校 紀南高等学校東紀州学
- 31. 島根県立吉賀高等学校 地域クラブ
- 32. 佐賀清和高等学校 文化教養科キャリアデザインコース

## 北海道留萌高等学校 商業研究会

### 留萌を「聖地」へ

昨年に引き続き、新型コロナウイルスによって各地域イベントは中止となり再び計画は大きく狂ってしまいました。そんな中、特に力を入れているのがキャラクタービジネスです。同世代への情報発信として「るもっぺーず」（オリジナルキャラクターたちのグループ名）を活用した留萌の「聖地巡礼」化にむけ、かなり計画が進展しました。

アニメ制作へむけた第一歩とした四コマ漫画が高い評価を得て、地元の留萌新聞や留萌市広報誌等で38作品が掲載され、これによりキャラクター缶バッジに加え、作品集も販売できました。また既存の作品を活用し紙芝居タイプの動画も作成しました。この動画は留萌市のHPなどを通じ発信していく予定です。現在は四コマ漫画を創りながらコマ数を増やし、アニメーション作成ソフトを使った作品制作に取り組んでいきます。

「かずもちゃん焼き」の具材開発では、増毛のリンゴ、小平町の鶏卵のカスタードに続き、チョコレート味の開発も行いましたが、地元の素材をつかった食材にこだわっていきたいと考え、カボチャを使った研究に取り組んでいきます。

今回も直接道外の皆さんと友人関係を育むことができず、とても残念に感じています。来年は全員初めての伊勢での交流となりますが、交流できることを期待してがんばっていきます。



## 青森県立木造高等学校深浦校舎 深浦町探究愛好会ふかうら SBP

### 深浦町魅力発見プロジェクト

深浦町探究愛好会ふかうら SBP は現在部員9名で活動しています。

私たちは今までにマグロの形をした「マグロ焼き」を開発し販売してきました。今年は新たに、ココア生地の中にチョコを入れた「ココアチョコ味」やピザソース生地にコチュジャン入り豆腐ハンバーグを合わせた「ピリッと辛いピザ味」を試作しました。ココアチョコ味は、ちょうどいい甘さになるように何度も改良を繰り返しました。ピリッと辛いピザ味は、試食で好評だった2つの味を組み合わせることでもとても美味しいマグロ焼きを作ることができました。

また今年は、地元の人しか知らない観光地や、深浦町を訪れたら一度は寄ってほしいおすすめのレストラン、深浦町を訪れた偉人をまとめた3種類のパンフレットを作成しています。まだ知られていない深浦町の魅力やもっと知ってほしい深浦町の良い所を県内外の人に紹介するために、県内外の駅にパンフレットを設置させてもらう予定です。また、町の店・施設と協力したスタンプラリーやフォトコンテストなどの企画も考えています。

来年で木造高等学校深浦校舎は閉校するため、ふかうら SBP はなくなってしまいますが、パンフレットを作ることで私たちが発見してきた深浦町の魅力を形に残して、これからの深浦町の発展の糧になるよう尽力します。



## 青森県立鱒ヶ沢高等学校 鱒ヶ沢高校 SBP 研究会

### 進もう！一歩ずつ

私たち青森県立鱒ヶ沢高等学校 SBP 研究会は、今年で活動6年目を迎えました。現在、部員は15名で結成当時の合言葉「鱒ヶ沢町をPRする」を受け継ぎ、活動をしています。

これまで「0歳からのSBP」、「地域活性化マン戦隊ショー」、セレクトギフト「鱒の味」製作、「力士くんおやき」販売、静岡県の浜松学芸高等学校と協働した「胸キュンプロジェクト」など様々な取り組みをしてきました。

コロナ禍の中で活動に制限がかかっていますが、今年は、セレクトギフトのリニューアルを目指した新「鱒の味」の製作、昨年1度もできなかった「力士くんおやき」の販売と新味の開発、「胸キュンプロジェクト」の鱒ヶ沢版「鱒きゅんプロジェクト」を進めているところです。

多くの方々のおかげでこれまで活動を継続することができています。感謝の気持ちを忘れず、さらに進化していくために失敗を恐れずにどんどんチャレンジし、一歩ずつ前に進んでいきたいと思っています。

また、SBPの交流を通じて、たくさんのことを学んでいきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



## 仙台市立仙台商業高等学校 商業情報部

### STOP! もったいない～高校生が救う食品ロス～

仙台市立仙台商業高等学校は、男子校である仙台商業高等学校と女子高である仙台女子商業高等学校が統合し、今年で13年目です。私たち商業情報部は、地元への地域貢献を目指して、地元の企業と協力し、商品開発や新たなビジネスの形を考案する活動をしています。また、販売実習やボランティア活動などにも積極的に取り組んでいます。

今年はSDGsの視点から食品ロス問題に着目し、廃棄されるシイタケの軸を用いたカレーを株式会社やくらいフーズ様と共同開発中です。これにより食品の再分配・有効活用、パッケージには部活のキャラクターであるベコタンを載せ、商標使用料のライセンス契約を結びたいと考えています。

次に、フードバンク仙台様の活動に参加し、実態について学びました。この問題解決のため、ポスターを作成し、学校に掲示しました。

そして東北大学様で「100円朝食」という活動を行っていましたが、これに仙台市が保存する賞味期限が近い防災備蓄食品を使用するという案を提案させていただきました。

また、これらの内容を県内のイベントで発表したいと考えています。

今後もこれらの活動を継続させ、地域から食品ロス改善を行っていきたく考えています。



## 福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校 社会起業部カフェチーム

### café ふうから地域を盛り上げる

ふたば未来学園は福島県双葉郡の広野町にある中高一貫の学校です。震災の影響を受け、現在休校となっている双葉郡内の5校の想いと伝統を受け継いだサテライト校として、2015年に開校しました。自らを変革し、地域を変革し、社会を変革していく「変革者たれ」という建学の精神のもと、今の社会から、さらにより良い未来を創造していくために日々活動しています。

高齢化や人口流出が課題となっている双葉郡の魅力をもっと多くの方に向けてもらうために「変化・交流・居場所を生み出す場所」として、私達は学校内の地域協働スペースにあるcafé ふうの運営と接客、イベントの企画などを行っています。また、双葉郡や地域のために活動している方々と交流を行いSNSで情報発信をしています。café ふうでは本校の生徒が作った焼き菓子やケーキなどを販売しています。そのお菓子には大熊町のいちごを使ったショートケーキなど双葉郡の特産品を使用しています。学校から地域、そして全国へと交流の輪を広げていき、地域産業に貢献するとともに新たなcaféの在り方を模索し、活動を進めていきたいと思ひます。



## 福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校 スペシャリスト系列【商業】

### Fから始まる言葉への思い～Fのわたあめ～

私たちの学校は、福島県双葉郡内の5校の高校の歴史と伝統、教育内容や特色を踏まえて2015年に設立された学校です。震災・原発事故という未曾有の経験からの復興を担う人材の育成を目指す学校として、「変革者たれ」という「建学の精神」のもと、「自立」「協働」「創造」を校訓とした学校です。

私たちが生活する福島県双葉郡では、フルーツ栽培が盛んです。しかし、双葉郡の町村ごとにいろんなフルーツが栽培されていますが、知名度が低くあまり知られていません。そこで私たちは双葉郡のフルーツを広める為に「Fのわたあめ」のSBを始めました。私たちの活動の元となったのはSBP交流フェアで知った「Sの絆焼き」です。双葉郡でも「Sの絆焼き」を始めようと考えましたが、特産品であるフルーツを最大限に引き出すビジネスの方法を考えたときにできたのが「Fのわたあめ」です。現在は、双葉郡の8町村のうち、広野町のみかん・楡葉町のユズ・富岡町のパッションフルーツの味がするフルーツのわたあめの開発・製造・販売まで行っています。しかしながら、コロナウイルスの影響で、イベントの中止も相次ぎました。その中でも感染対策を行いながら活動をしてきました。このSBが双葉郡のフルーツを多くの人に知ってもらい、食べてもらえるきっかけになることを願ひます。



## 栃木県立那須拓陽高等学校 SoyPro 同好会

### 未来に優しく、みんなを笑顔に！

那須拓陽高校は農業系3学科、家庭系学科、普通科を有し、5学科連携としてペンタゴンプロジェクトを掲げています。各科の特色を生かし、地域と協働した様々な取り組みを展開しています。

SoyPro 同好会は、「大豆100粒運動」を活動の軸に、無農薬・無化学肥料により地大豆を育て、地域の加工所と連携して製品化をしています。私たちが育てた大豆を原材料に、寄せ豆腐「陽むすめ」や納豆「拓味三兄弟」など多くの製品を地域の皆様に発信することができました。また、これまで2回、「タネ」と「オーガニック」のイベント「オダイズサイ 2019 たねはともだち」「オダイズサイ 2021 たねと土の約束」を学校農場で主催。前回はコロナ禍で開催が危ぶまれましたが、オンラインイベントとして開催することができました。トークセッション、講演会や味噌造りワークショップなどを催し、多くの方々に視聴いただきました。また、「おうちでたねまき」と題して、全校生徒のみならず近隣の幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校に大豆のタネを配りました。

守ることだけでなく、新たな価値を創出することで、地域に遺されたタネを、活用しながら継いでいくことをミッションとしています。こうした活動を地域の方々と進めることで、地域振興を創出（Produce）したい！と考えています。



## 福井県立若狭高等学校 小浜未来構想学生グループ

### 持続する助け合いの輪の拡大活動！

小浜未来構想学生グループは、先輩方の活動を引き継ぎ発展させたいという想いを持った有志が集まって結成されました。

そんな私たちは、「持続する経済循環の仕組みと繋がり」のきっかけを作り、助け合いの輪を広げる」をコンセプトに、活動に取り組んでいます。

私たちの活動は、大きく2つに分けられます。  
1つ目は、市の「おうちでごはん おばまで団らん」キャンペーンを盛り上げるべく行ったフォトコンテスト。市民同士の交流が行われ、心温まるイベントとなりました。また、副賞としてオリジナル箸の作成を行い、その後、販売させていただきました。

2つ目は、飲食店のアイドルタイムに店の一部を学生の勉強場所として解放する制度E-spaceプロジェクト。飲食店の店内に客が戻ってきていない、勉強場所がコロナの影響で少なくなった、という声から、上記のような制度を考え、プレスタートを行いました。

以上の活動を通じて生まれた地域のつながりを大切に、今後も魅力ある温かい地域づくりの継続に貢献していきます。



## 浜松学芸中学校・高等学校 社会科学部地域調査班

### 高校生発！地元の魅力を発信する広告代理店 ～浜松市の公式動画制作への挑戦～

浜松学芸高校社会科学部地域調査班は、地域の魅力を発信する様々な活動に取り組んでいます。近年は、モノづくりからコトづくりへの変化に挑戦して、創作盆踊りのイベントや動画制作と連動したパフォーマンスの披露も行っています。また私たち探究部活では、学年毎に取り組むテーマを生徒達で決めており、様々な視点から地域の魅力を発信しようと挑戦しています。

そこで今回は、地方都市の弱点として地域のコンテンツビジネスを盛り上げようと、浜松市公式動画として「浜松戦隊 ヤラマイカー」という動画制作に取り組みました。「やらまいか」は浜松地域の方言で、「やってみよう！」という前向きな挑戦の気持ちを表しています。公開入札に参加し、本格的な動画制作に取り組んだ挑戦！戦隊もののフォーマットを用いて、私たちにとっての地域のヒーローとは何かを表現しました。



## 三重県立松阪商業高等学校 松阪商業 SBP

### 現代の松阪商人になる！

松商SBPは、5年半前、松阪商業高校がSBP活動を担っていくために設立された同好会です。設立当初は7名で活動し、現在は14名で活動しています。

松阪商人を輩出した松阪市にある松商SBPは、『現代の松阪商人になる！』という目標を掲げ、「つくる」、「つながる」、「まなぶ」、の3つを活動の柱として、地域貢献活動に取り組んでいます。私たちは、地域の商店や企業、SBP活動に参加する企業に働きかけ、橋渡しをして松阪地域の特産品を活用した商品開発に取り組んでいます。開発した商品を販売して得た利益で、松阪市行政チャンネルやSNSを活かした広報活動や県内外の様々なイベントに参加し、松阪地域をPRしています。今までに、松商セレクトギフトや松阪豚ミートパイを商品開発し販売しました。昨年から続くコロナ禍においても、オンライン会議やSNSを駆使し、相可高校食物調理科、明野高校生産科学科と地域の商店とコラボしたレトルトカレー制作、感染症対策と巣ごもり需要をターゲットにした松商セレクトギフトリニューアル活動、大手スーパーとコラボし、三重県内外のスーパーで販売を目指した総菜開発、三重県各地でプロジェクトマップ上映会に参加するなど、松商SBPが核となった地域貢献ネットワークを広げるべく活動に励んでいます。



## 愛知県立高浜高等学校 高浜高校地域活動部 SBP 班

### つなげてみりん！ Sの絆焼きでみんなでピース！

高浜高校地域活動部SBP班は、5年前から「Sの絆焼き型」の製作・販売に取り組んできました。「Sの絆焼き型」とは、オリジナルデザインが可能なたい焼き型です。「Sの絆焼き型」は、お客様から依頼されたデザインを瓦職人（鬼師）が立体的な形にして、市の主要産業である自動車部品工場が金型を彫り込むという工程を経て製作しています。これまでに、全国7都道府県に11台販売してきました。現在、コロナウィルスの影響で、イベントの中止などが相次ぎ、思ったような活動が行えていませんが、愛知県のプロバスケットボールチームであるシーホース三河さんと協力して、「タツヲ焼き」の販売を行い、その利益で地元子どもたちを試合に招待したり、子ども食堂にタツヲ焼きを提供するプロジェクトを始めたりするなど、地道に活動を続けてきました。B to B（焼き型を販売した学校・企業）から、さらにB to C（たい焼きを買ってくださるお客様）まで笑顔の輪が広がり、「Sの絆焼き」を通してたくさんの方々をつなげていきたいと思ひます。



## 三重県立相可高等学校 食物調理科 調理クラブ

### めざすは「食のプロフェッショナル」！

相可高校食物調理科では、「食のプロフェッショナル」に求められる力を「技術力」「経営力」「商品開発力」「コミュニケーション力」「グローバル力」の「5つの力」を3年間で学びます。

総合的な「食」の技術習得、発信の場であるのが高校生レストラン「まごの店」であり、地元の生産者、農産物直売施設「おばあちゃんの店」の食材を使用し、オープンキッチンで調理することで食の安心・安全、トレーサビリティ、地産地消をねらいとしたレストランです。

活動の主体は「調理クラブ」で、開店以来、毎営業日には、いつも満員の大繁盛で、生徒たちが約30人体制で交代して運営を行っています。

献立は、季節の食材をてんぷらや煮しめにした「花御膳」と、地元多気町産の伊勢いもを練り込んだとろろ麺が名物の「まごの店定食」、地域の名産松阪牛を使った「松阪牛すき焼き茶漬け定食」、尾鷲特産の真鯛をごま醤油に漬けた「尾鷲の真鯛茶漬け定食」など地元食材をふんだんに使った料理を提供しています！



## 三重県立相可高等学校 農業クラブ

### バイオマス産業のまちづくりを目指して ～超バイオマス栽培への挑戦～

相可高校がある多気町ではバイオマス発電所の誘致に取り組んでいます。しかし発電所から排出される消化液を農業利用するための調査・研究に取り組み、栽培の成功だけでなく、所得向上、消化液の安全性、肥料登録等に成功しました。また、クラウドファンディングにより相可高校総合農場へバイオマス発電所を移設、設置し稼働をスタートしました。そのプラントで食物調理科から排出される食品残渣を利用して消化液を総合農場で液肥として利活用しバジルの栽培、またそのバジルによる6次産業化にも挑戦し「バイオバジルオイル」を完成させることができました。さらに、そのオイルの生産工程で廃棄物として出るアルカリフーツ、木質バイオマス発電所から出るバイオマスアッシュ（灰）を農業利用し超バイオマス栽培として取り組んでいます。

私たちは農業を通じた地域貢献を目標にもしています。その目標に向けて「バイオマス産業のまちづくり」をテーマに取り組み1歩ずつ進んでいきたいと考えています。



## 三重県立南伊勢高等学校南勢校舎 南伊勢高校南勢校舎 SBP

### 地域の方とともに新しい価値を創造します！

海の幸や山の幸など、自然の良さを全身で感じられる南伊勢町に私たちの学校、南伊勢高校南勢校舎はあります。しかし、南伊勢町の人口減少は著しく進んでおり、若者が地元に残り、生き生きと活動できる場を創ることが急務となっています。本校では、岸川政之さんの講演をきっかけにまちづくりへの気持ちが高まり、全国で最初のSBPが発足しました。発足して今年で9年目となり、私たちの活動が南伊勢町内だけでなく、全国にも広がりを見せつつあると実感しています。

南伊勢町にある特産品の魅力を発信するために2014年からスタートした、「セレクトギフト」は、我々高校生が選んだ町の特産品を1つの箱に詰め合わせたもので南伊勢町だけでなく、南伊勢町外での店頭販売や、ふるさと納税を用いた方法での販売も行いました。

また、町のゆるキャラ「たいみー」の形をしたたい焼き「たいみー焼き」を販売しています。地元の小学生にたいみー焼きを使った授業、「ふるさと教育」を毎年行っており、これからの「ふるさと」を創っていく仲間とともに成長しています。

今年度は、「1億円プロジェクト」への参加をとおして、全国版のセレクトギフトを作成することを現在行っています。これからも我々は、「ふるさと」をこよなく愛し、「ふるさと」を守っていくための取り組みを全力で行ってまいります！！



## 三重県立南伊勢高等学校度会校舎 度会 SBP

### 「プロジェクトマッピング」で 元気&活気を↑

みなさん、「度会」って読めますか？ 答えは「わたらい」です。度会校舎は、度会町という、豊かな自然に恵まれた地域にあります。

度会 SBP は、南勢校舎の活動に触れて「自分たちもやりたい！」と思った先輩たちが、2018年に始めました。その後、活動がない時期もありましたが、昨年度から、「プロジェクトマッピング」という動画作成・上映を中心とした活動を行っています。

文化祭のオープニングで、みんなの気持ちをまとめ、盛り上げるための動画を上映したり、4月の対面式で学校紹介の動画を上映したりしてきました。また度会町や南伊勢高校のPRのため、伊賀市や紀宝町のイベントでも作品上映を行いました。動画づくり以外の活動としては、今年度は、度会町とコラボした「度会校舎図書館開放デー」で、保育園や小学校の子どもたちに、プログラミングを使った遊びを体験してもらったコーナーを担当しました。

現在は、中国の高校生に度会町を紹介するための動画づくりを計画しています。今後、度会町の様々な方々の協力も得ながら作品をつくっていきます。



## 京都府立海洋高等学校 海洋資源科食品経済コース

### 地元食材を活用した商品開発

コロナ禍の中、私たちは「今しかできないこと」「今だからこそできること」を考え、「おうち時間の充実」をテーマに多くの新製品の開発に勤しんだ結果、それらのレシピは多くのコンテストで入賞することができました。入賞の背景には、地域の方々から「海洋高校ならなんとかかしてもらえ」というありがたいお言葉とともに、地元漁業関係者や農業関係者の方々から多くの地元の食材が本校に集まっていることがありました。しかし、まだまだ、以前の水産高校のイメージを払拭することができず、「海洋高校＝缶詰」「海洋高校＝干物」のイメージが強いため、レストラン運営やスイーツの製造については認知度が大変低い状況にあります。また、水産業衰退に伴い、本校の志願者数も年々減少傾向にあり、令和2年度入学生は、中期志願倍率が0.34倍になってしまいました。そこで、これまでの水産・海洋系高校のイメージを一新し、新しい京都府立海洋高等学校の取り組みを広める必要があると考え、これまで開発したレシピやスイーツを積極的に全国PRし、新しい海洋高校についての理解を深めてもらいたいと思い応募しました。



## 和歌山県立神島高等学校 商品開発プロジェクト「神島屋」

### ～梅を食べようキャンペーン～

本校は和歌山県南部に位置し、大正5年に田辺実業学校として発足してから今年で105年目を迎える学校です。学科は経営科学科と普通科の2学科があります。

平成24年度より、経営科学科における課題研究として「商品開発」の講座を設け、地域にある唯一の商業学科として、特産品である「梅」の消費拡大に協力できるように、「梅」を用いた商品開発に取り組んでいます。また、開発した商品は「神島屋」として、地域内外の様々なイベントで販売しています。

コロナウイルスの影響もあり、これまでのような調理や販売を中心とした取り組みが難しい中で、神島屋が今できることとして、梅をPRするとともに飲食店や販売店舗を応援することを目的として「梅を食べようキャンペーン」を実施しています。キャンペーンの内容は、①ウメ弁当のテイクアウト用チラシ作成、②ウメ弁当イベント販売、③ウメ梅弁当コンテスト、④ウメスイーツリーフレットとなっています。



## 熊本県立天草拓心高等学校 天草拓心高校SBP部

### 天草の魅力为全国へ!!

天草拓心高校SBP部は今年で発足から3年目になります。私たちの住む天草は海に囲まれた美しい自然豊かな島です。柑橘類や新鮮な海産物などの資源が豊富で世界遺産である崎津集落もあり、「日本の宝島」と呼ばれていて国立公園になっています。天草は現在日本で二番目に人口の多い島ですが、ここ最近では少子高齢化と過疎化が進んでいると問題視されています。そこで僕たちのような地元の高校生がここ天草に残りたいと思える場所にするために、天草を盛り上げたいと思い、活動を行っています。

現在あんまりん焼き（Sの絆焼き）と防災用非常食の開発に取り組んでいます。あんまりん焼きのデザインは、天草の有名な「イルカ」と、天草の市花である「はまぼう」を組み合わせたもので、一目で天草の魅力が伝わるものになりました。このあんまりん焼きをイベント等で販売し、そこで得た利益を天草の自然景観保護活動の支援に用いたいと考えています。

防災用非常食は三重県の南伊勢高校と共同で取り組み、天草の郷土料理である「せんだご汁」を非常食として形にすることができました。今後予想される災害に対し少しでも被災者の力になりたいと思い、現在は複数の企業に協力していただき、大量生産を目指しています。

これらの活動を通して私たちの大好きな天草の魅力をより多くの方々に知っていただけるように頑張ります。



## 愛媛県立土居高等学校 情報科学部

### 『ディスカバー農山漁村の宝』ing ～ユネスコ世界遺産登録への挑戦～

これまでに授業で学んだ学習をもとに、教室を離れ世の中に通じる実験やビジネスモデルの開発を行ってきました。愛媛県立でありながら、地域資源といえる盆栽の魅力を再開発し、在日外国人を対象に高校生らが企画主導してツアーを組んで、盆栽文化を世界へ発信しました。その成果は、平成30年の観光甲子園でグランプリを獲得、令和元年は日本初の高校生発起地域連携インパウンド盆栽ツアーの商品化を実現しました。令和2年は、コロナ禍のなか、インターネットで観光名所を巡る四国版「オンライン体験フェス」に挑戦、盆栽の魅力伝えて双方の学びを提供しました。令和3年、学校教育と地域経営組織を融合した「地域創生ネットワークシステム」を構築するという構想を発表し、普通科高校（商業科目履修）としては全国初となる『ディスカバー農山漁村の宝』の選定授与を受けました。少人数ながら高い志を持って試行錯誤してきた活動が評価され、身に余る光栄であると同時に、身の引き締まる思いです。恵まれた地域資源と世界的な盆栽ブームを生かし、むらの宝選定の次は、四国初「ユネスコ世界遺産登録」に挑戦したいと考えています。世界規模での地球環境問題にも真摯に向き合っていきたいと思っています。



## 宮崎県立飯野高等学校 E-GEP

### えびのグローバル起業プロジェクト

私たちは、えびの市（飯野高校）から、国際的視野を持って地域で仕事を創ることを目標に活動しています。E-GEPとは、えびの市のグローバルアントレプレナーシッププロジェクトのことです。えびの市の強みや社会課題を考え、起業を通じて社会貢献しようというものです。例えば、市内には温泉や食、アウトドアに適した自然環境があります。これは、コロナ禍においても強みといえるものです。

そこで私たちは、以下のように4つの事業グループに分かれてそれぞれサポートしながら活動しています。①温泉×キャンププロジェクト、②地域医療×温泉プロジェクト、③異世代ホームシェアプロジェクト ④ツアー×学びプロジェクト この取り組みは、地域の事業者にもサポートをいただきながら活動しています。例えば、事業計画を考える際には、様々な考え方を知らずには事業者と対話する合宿を実施し多くのことを学ぶことができました。私たちは、この活動を通し事業を創ることはもちろんですが、顧客（参加者）同士をつなぐプラットフォームにもなりたいたいと考えています。それは、地域における社会課題を解決するには、まず人と人とのつながりが大切だと考えるからです。そして、えびの市に新たな価値をつくって地域全体に寄与できる活動にしていきたいと思っています。



沖縄県西原町  
NS<sup>2</sup>BP (西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト)

高校生の真っ直ぐな気持ちと、  
前向きな精神で、まだまだチャレンジ

私たち NS<sup>2</sup>BP は沖縄県の西原町を拠点に高校生が主体となって活動しています。NS<sup>2</sup>BP とは、Nishihara Students Social Business Project の略であり、現在県内 8 校から集まる高校生が、琉球大学等の教育機関や地元の企業、西原町役場の協力のもと日々頑張っています。

現在は新型コロナウイルスの影響で思うような活動が出来ていませんが、地域のゴミ拾いボランティアや、食品ロスを減らすプロジェクトへの参加等へ、コロナ対策を徹底して取り組んできました。

今年の主な目標としては、町の活性化を目指した商品開発プロジェクト、町内の多くの企業の協力を得て行う創作演劇プロジェクト、ボランティア活動などの取り組みをしていきたいと考えています。

昨年度は、新型コロナウイルスに感染しないことを第一に考え、活動を自粛してきたのですが、今年度は新型コロナウイルスに感染しないことはもちろん、この状況下で何が出来るのか、この状況下だからこそ必要な事を意識し、西原町の活性化に向けて頑張ります。



青森県立六戸高等学校  
生徒会

六戸高校独自の  
ビオトープ活動

学校近くにある、自然豊かな「さつき沼」周辺のビオトープ化をすすめています。全校生徒加入のビオトープ委員会が中心となり、環境・生物調査および、保護や保全活動などを行っています。たとえば、カブトムシの繁殖を目指す「カブトムシベッド」を作ったり、様々な虫が冬眠する「インセクトホテル」を作ったりしています。カブトムシ観察会やホテルの観察会も行ってきました。



富山県立滑川高等学校  
薬業科

Beauty and Healthy !

滑川高校薬業科では 5 年前から、地元の製薬会社の前田薬品工業(株)と共同商品開発に取り組んできました。

最初は「ぴーりっちゅ」という化粧品ブランドを立ち上げ、化粧水、乳液、リップスティック、フェイスマスクを商品化しました。

昨年度は新商品としてコロナ禍にタイムリーな泡消毒剤を商品化することができました。商品名は「おちゃぶる」です。今後も新たなものを世に生み出していきたいと思っています。



五所川原第一高等学校  
じゃわめき隊

高校生×地域＝ワクワク

私たちは、学校の部活ではなく有志団体になります。地域を学びの場とし『ジブンゴト』として考えて地域とのヒト・モノ・コトに関わっていくことを目標に活動しています。昨年度は地域のお店とコラボしたおやきを考え商品化に成功しました。今年は、新たな商品開発と地域の清掃活動を行い地域とさらに関わりを深めていきたいと思っております。りんご色に燃える真っ赤なハートで頑張っていますのでよろしくお願いします。



五所川原商業高等学校  
商業クラブ

五所川原地域活性化 !!

地域貢献を目的としてボランティア活動の取り組みや、商品開発など幅広く活動しています。また、じゃわめき隊プロジェクトに参加し五所川原を活性化するために津軽鉄道や十三湖など五所川原に観光客を増やすために日々活動しています。



静岡県立島田商業高等学校  
超☆珠算部

～地方創生に向けた  
イベントの企画・運営～

本校は、蓬莱橋やトーマス号の走る島田市にある商業高校です。超☆珠算部では資格取得に取り組むほか、「商品開発」の授業を中心に、生徒会や部活動とも連携し、地域の資源の活用に向けて取り組んでいます。珠算部では検定取得や大会参加のほか、学んだ知識を実践に活かすことを目標に、「和菓子バル」の開催や「大井川流域のPR」などのイベントの企画・運営を行うなど、地域の課題解決に取り組んでいます。



三重県立明野高等学校  
生産科学科畜産専攻

伊勢あかりのぽーくを  
地域から愛されるブランドに

三重県立明野高等学校生産科学科畜産専攻では、私たちが育てた豚「伊勢あかりのぽーく」で地域畜産業及び地域社会の活性化に取り組んでいます。SDGs に配慮した養豚を発信するため、地域企業と連携し、数々の商品を開発。開発商品の具材に地元農産物を使い、地元スーパーで販売イベントを行うなど、地域密着型の活動を行ってきました。また、コロナ禍における EC サイトや SNS の活用など時代に即した発信を行い、活躍の場を広げています。



## 三重県立飯南高等学校 応援団 Circle

みんながハッピー！  
みんながハッピー！

私たちの学校は、昭和23年にその歴史をスタートさせ、平成30年度に創立70周年を迎えた地域の伝統校です。学校がある飯南・飯高地域は、美しい自然、長い歴史と豊かな文化を持つ素晴らしい地域です。一方、少子高齢化・過疎化が進んだ「世界の課題の最先端」の場所の一つです。応援団 Circle は「学校地域を盛り上げる」ことを目的とし活動を行っています。昨年度発表した3年生はその経験を元に、卒業直前まで木の手帳の改良や情報発信の工夫を進めました。またその姿をそばで見てきた1・2年生は現在空き家カフェプロジェクトを進めています。



## 三重県立昴学園高等学校 昴学園SBP

「大台町」から魅力発信！

昴学園は、個性豊かな5つの系列がある総合学科の高校です。本校がある大台町は、ユネスコエコパークに登録されている町ですが、過疎化、高齢化等の地方問題を抱えています。地方の問題解決が日本の発展につながると考え、課題解決に取り組みたいと思っています。今回はじめてSBP交流フェアに参加します。これからメンバーを募り、来年にはアワードに参加し、皆さんと交流が出来るように頑張っていきます。



## 佐賀清和高等学校 文化教養科キャリアデザインコース

SBPを取り入れた授業を目指します！

佐賀清和高校は佐賀県にある私立学校です。今年で創立110周年を迎えます。明治44年の創立以来、受け継がれる伝統として「和顔愛語」を実践目標として生徒たちは明るい笑顔と思いやりのある優しい言葉遣いで、礼儀正しい生活を心がけています。SBPの取り組みに興味を持ち、文化教養科キャリアデザインコースの授業に取り入れていこうと考えています。今回は見学で参加させていただき、他校の取り組みについて学びたいと思います。



## 三重県立紀南高等学校 紀南高等学校東紀州学

本州最南端の魅力、  
研究中！

私たちは、紀南高校の地歴科の科目「東紀州学」の履修生です。東紀州学では、地域を活性化させるための方法を考えています。近年は「紀州犬の魅力発信」に力を入れ、ポスター作成などを行ってきました。今年は「ウミガメをいかした地域おこし」をテーマに、プロジェクトマップ製作に取り組む予定です。SBPに力を入れている学校の取り組みから多くのことを学びたく、交流会に参加いたします。よろしくをお願いします！



## 島根県立吉賀高等学校 地域クラブ

吉賀町とともに

昨年度参加させていただいた島根県で一番小さな高校「吉賀高等学校」です。3.11東北震災2年目を契機に高校生有志が集まって活動を始めたこのクラブの活動も8年目になります。県外・町外からの生徒も一緒になって地域に出かけ、様々な地域活動に参加することで「高校」と「地域」が支えあう関係を築き上げてきました。今年はSBPアワードに参加できませんでしたが、来年また挑戦してみたいと思っています。



脈々と受け継がれてきた伝統や文化、豊かな自然に恵まれた伊勢志摩という地でさまざまな人々と触れ合い、地域の課題に向き合っていく。柔軟な視点としなやかな発想で、もともとあるものを大切に守りながら、未知の魅力を発見し、新しい価値を生み出していく。それが、これからのわたしたちの役割だと、地域の活動で気づくことができた。この地を支え、変えていくことから、日本を元気にしたい。そんな将来を描き始めるようになった。大らかに、深く、柔らかく、温かく、熱い。伊勢志摩という教科書は、いつもわたしたちに多くのことを教えてくれる。

伊勢志摩、  
という教科書。



皇學館大学 皇學館高等学校 皇學館中学校  
三重県伊勢市神田久志本町1704 TEL 0596-22-0201(代表) <https://www.kogakkan.ac.jp>



伊勢  
名物

**赤福**

本店 〒516-0025 伊勢市宇治中之切町26番地  
電話 0596-22-2154(代) ファーダイヤル 0120-081381  
<https://www.akafuku.co.jp>

ワクワクする毎日を。

**ENCHANTÉ**

株式会社アンシャンテ

〒510-8034 四日市市大矢知町 1425-6  
TEL 059(361)2040 FAX 059(363)3569



## 心、おどる、デジタル

人の創造性を解放し、自由な発想をカタチにすることで、  
課題解決の向こうにあたらしい明日を創りだす。  
それが、アドビのクリエイティブ・デジタルトランスフォーメーション。

ユーザーを真に理解し、変化を先取りして  
一人一人に合ったコンテンツ制作やクリエイティブで迅速に対応。  
また、仕事の進め方や手順を常に見直し、継続的な事業の革新と創造をサポートします。

解決力から創造力へ、  
心にひびく、社会がつながる、幸せなほうのデジタルを、アドビと。



**NT**  
**GROUP**

**エヌティーク**株式会社

〒444-1314 愛知県高浜市論地町五丁目1-10  
TEL.0566-52-0020 FAX.0566-52-5303

**エヌティエンジニアリング**株式会社

〒444-1335 愛知県高浜市芳川町三丁目3-21  
TEL.0566-52-0015 FAX.0566-52-4148

**エヌティツール**株式会社

〒444-1335 愛知県高浜市芳川町一丁目7-10  
TEL.0566-54-0101 FAX.0566-54-0111

**エヌティ精密**株式会社

〒444-1335 愛知県高浜市芳川町一丁目7-10  
TEL.0566-52-5173 FAX.0566-52-5191



今までも、これからも。  
私たちにできること。

Grano 24K

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



**NEXCO**  
中日本

NEXCO中日本サービス株式会社  
〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-4-18 岡谷鋼機ビル5F  
☎052-222-9991 <https://c-nexco-svc.jp/>



**SYD**  
みんなの幸せを願う『幸せの種まき運動』を  
全国的に展開しています

**SUPPORTING  
YOUR  
DREAMS**



SYD 伊勢青少年研修センター  
伊勢市宇治今在家町 153  
TEL 0596-25-0265  
FAX 0596-25-0309  
HP <https://syd.or.jp/ise/>




人と地域に  
寄り添い  
同じ未来を  
見つめる銀行。

お気軽にご相談ください。  
《資産運用・住宅ローン・ビジネスローン》

**百五銀行**  
FRONTIER BANKING  
インターネットホームページ <https://www.hyakugo.co.jp/>

FRONTIER BANKING



調査  
業務

- 調査研究・地域活性化支援  
地方公共団体等が抱える課題に対して、ご支援・コンサルティングを行います。
- 地域経済・産業動向調査  
地域経済、産業動向、経済波及効果などを調査しています。

コンサル  
ティング  
業務

- 経営改善支援
- 賃金・人事・雇用管理
- 教育・研修・講師派遣
- マネジメントシステム導入支援
- BCPコンサルティング
- PPP・PFI手法の導入・事業実施支援

幅広い分野で、お客さまのニーズにお応えします。

会員  
制度

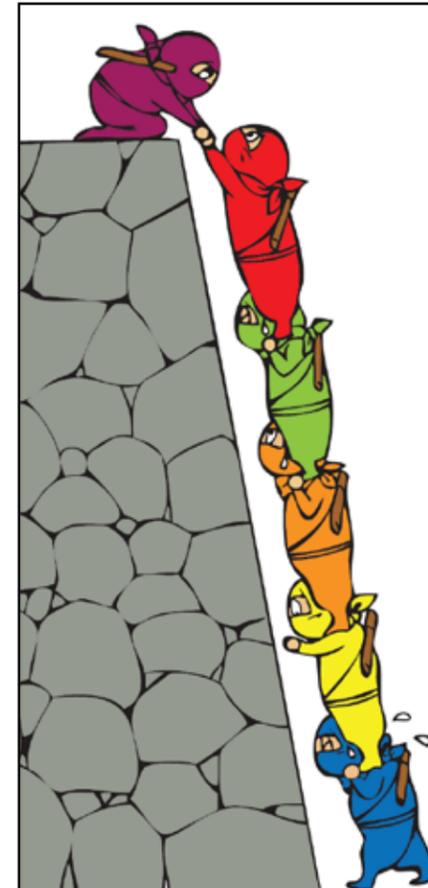
- 百五経営情報クラブ  
(特別会員、一般会員)  
総研懇話会、商談会・ビジネスマッチング、ビジネスセミナー、経済講演会、勉強会開催  
教育研修用DVDの無料貸出、定期刊行物など
- 情報セキュリティコンサルティング  
(情報セキュリティ会員)

主な定期  
刊行物



**HRI**株式会社  
百五総合研究所

TEL.059(228)9105 FAX.059(228)9380  
URL <https://www.hri105.co.jp/> E-mail [info@hri105.co.jp](mailto:info@hri105.co.jp)



りよく  
**チムカ**

寄らば文殊の知恵、みんなでコラボしよう!!

私たちは、子ども達(未来の大人)がより幸せに生きるために「学び方」という忍術を学んで欲しいのです。

例えば、子どもたちが課題を見つけ解決する活動を通して、仲間と対話的に主体的に行動することで学ぶことが重要であると考えました。このような子どもたちを伸ばすためにどのような教育を行えば良いかを考える研究会です。

これからの教育の方向性についても議論し、その成果を世に発信していきます。また、そのような仲間を募集しています。

会長 中村 武弘



三重県教育工学研究会  
<http://www.mie-ict.com>

**マルシェ株式会社**



**本格炭火焼**

一本一本心を込めて丁寧に。  
素材にも焼く技術にもこだわった  
本格炭火焼のお店。



なにわの大衆居酒屋  
**酔虎伝**  
SUIKODEN

**なにわの味**

串カツに焼そばにどて焼。  
創業より変わらぬ味を  
堪能できるお店。



**鉄板焼居酒屋**

いろんな鉄板料理を  
たくさん味わっていただけるよう  
工夫をこらしたお店。



<https://www.marche.co.jp>



味にまじめ  
素材にまじめ

